

会 議 記 録

会議名称	第 26 回 会津坂下町新庁舎建設検討委員会
開催日時	令和 8 年 3 月 12 日 (木) 15 : 00 ~ 16 : 10
開催場所	役場 3 階 大会議室
出席者	委員 13 名 町長、副町長、事務局 3 名

<会議内容>

- ・ 委員長を議長とし、協議

【協議事項：基本計画（案）について】
（事務局）

～資料の説明～

レイアウトイメージ・・・社会福祉協議会、生涯学習班を抜いて作成したものの
基本計画（案）概要版・・・町民説明会で提示する資料

説明が必要な部分、決定した部分のみに絞ったもの
（本会議では表紙と目次のみ配布）

（委員長）

社会福祉協議会について言うと、社会福祉協議会には、社会福祉事業と包括支援センターの2つがある。その関係で月にどのくらい会議があるか、社会福祉協議会が事務局をしている団体がどのくらいあり、どのくらい会議をしているか、人数はどのくらいかということと、社会福祉協議会に来られる方は堂々と入ってくる人ではなく、あまり町民に会いたくないという方がほとんどであることを考えると、役場庁舎に入れば当然高齢者支援係や社会福祉係などと密接に対応できるようになるが、主役は誰かということ、やはり困っている住民の人が主役であるため、住民の人が入りやすく活動しやすい施設であるべきということで、生活課と庁舎整備課、社会福祉協議会で数度にわたって話をし、やはり今回新庁舎に入ることはやめて一線を画していこうということで今回外してもらった経過がある。

（委員）

資料3の2ページに社会福祉協議会と生涯学習班は入れないとあるが、妥当な判断だと思う。委員長からあったように、社会福祉協議会は利用者の立場に立った利活用

を考えると新庁舎に入らない方が良いと思う。生涯学習班も、土日や夜間の運営があり、運営面でも管理面でも新庁舎とは別にしていくのが妥当だと思う。

(委員)

以前から提案していた委員会リストを作っただき、分かりやすくなったと思う。1つ注文があり、このリストでもう終わったものは網掛け等で分かるようにすればどれが残っているかが分かりやすくなるため、そのように検討していただきたい。

また、以前会津地区でどのような会議場があり、それを予約できるようなシステムがあれば、自分の町ではない別などところにある会場も含めて見やすくなり、そういった資源が有効に使えるのではないかとということを提案したことがあるが、このリストには載っていない。そういった提案したものでリストに載っていないものをみんなで出していただいて、さらに充実していったら良いと思う。

(事務局)

ご意見いただいた通り、終わった項目は分かるようにする。

(委員)

とにかく残っているものと終わったものを区別できるようにした方が良いと思う。

(事務局)

そのようにする。

(委員)

35ページの配置計画について、この図はおそらくこれから修正してL字型の庁舎の形を長方形に直すと思うが、今までもL字型は建設コストがかかるということで委員から抵抗感が示されていたため、シンプルな長方形になり非常に良いなと思った。

関連して、例えば社会福祉協議会が新庁舎に入らないということで、現在旧保健所の建物をそのまま利用しており、耐用年数もあるため建て替えという話にも将来的にはなってくると思う。その場合にはおそらく国からかなり補助金等が出るのではないかと予想するが、そのあたりの考えはどうなのか。社会福祉協議会の今後の庁舎の関係で考えを聞きたい。

(委員長)

かなりの年数が経っているため、今エアコンや暖房についても壊れないように活動している。今後社会福祉協議会は現在地でそのまま直して建替えるのかとなれば、役場としては壊して更地にしたいと当然思う。そうすると役場が今有している施設で使わなくなった施設、今後統廃合されて使わなくなった施設に移動していくことが基本であろうということで役場と社会福祉協議会では話し合った。特に一番はやはり会議

室の数と公用車。現在公用車は6台ある。車や除雪機械等を一箇所に持っていくとなるとかなりの面積が必要ということで、役場の考えに沿って進めていこうということになった。

(委員)

参考までに聞いたが、将来的に十分な検討と手だてをお願いできればと思う。

(委員)

町民向けの資料としては具体的にどれを使うことになるか。

(事務局)

今度の町民説明会用の資料としては基本計画(案)概要版を使う。基本計画(案)自体はホームページで公開して意見を募集することになる。

(委員)

住民向けの資料をわざわざここから抜粋して作るのは面倒ではないかと思った。その時は良いと思うが、後で色々変わった時に両方を変えなくてはいけなくなるため大変なのではと思った。説明の方法としてスクリーンで映して説明する等の方が楽ではないかなと思った。2つ準備するよりは管理するうえで後々楽ではないかと思ったが、大丈夫だということのならそれで良い。

(事務局)

そういう面も当然あると思うが、基本的には内容を抜粋するだけと考えている。やはり余計な内容が多く付いていると、いくらとぼして説明しても聞く方は大変だと思う。あとは紙の節約という点もあり、このような形で行いたいと考えている。

(委員)

社会福祉協議会が新庁舎に入らないということで、事務局は社会福祉協議会の中にあつたため、今後新しい庁舎にすることによって、我々も68名おり65歳以上が平均年齢になっているため、広い駐車場で非常に乗り入れしやすく利用しやすい庁舎に行けるのかなというふうに思っていた。社会福祉協議会が今後どうなるかはまだということで、今のままで使うのかどうかは分からないが、今の社会福祉協議会に出入りする人は駐車場で苦勞している。そのようなことも含めて丁寧な説明をしていきたいと思うためよろしく願います。

(委員)

19ページの敷地比較表の建設費の数字と44ページの概算事業費の数字が若干異なっている。これは19ページの表の上にも書いてあるとおおり、あくまでもこちらの

数字は令和6年11月時点での数字だということで説明できると思うが、そういう事でいいか。一方でこの数字が違うというふうに言われるケースもあり得るため、その辺りは前提が違うことをもう少しわかりやすく書いた方が良かったと思う。

(事務局)

今ほど委員がおっしゃったような考え方で記載している。当時この表を用いて実際に比較をしているため、それを考えるのもどうかというところでこの内容のままとなっている。当時の敷地の考え方や金額の出し方、あとは単価についても大きく違うためそのままの掲載としている。今ご意見いただいたため、上に記載している「比較した際の内容となります」という文言をもう少し濃くするなど、分かりやすくしていきたいと思う。

(委員長)

最終的に概要版で何を出すか、皆さんから意見をいただきたいと思う。私的には、基本理念は当然出さなくてはならないと思う。それから基本性能と導入機能と事業スケジュール。これだけでいいかなと思う。予算を出しても、住民の方から理解を得ることは大変である。基本理念と事業内容とそれからスケジュールの3つ程度でいいと思うが、皆さんからの意見もいただきたいと思う。

(委員)

予算はやはり住民は見たがる数字ではないか。そこを突く人もいたりもするわけだが。40億円かかるという認識が町民には広がっていると思う。

(委員)

財政上の理由で1回延期したときと今でどう違うのかは、住民は興味のあるところだと思う。そこは説明できるようにしておいたほうがいいと思う。

(事務局)

今意見として出た部分は、概算事業費の算出と財源計画のところになると思う。こちらの方で概要版にどう載せるかについては、今日の資料でいうと44ページの(1)概算事業費の下にある説明はそのまま掲載する。その後の事業費の表もそのまま掲載する。その後の(2)財源等については、ここにある説明が今委員のおっしゃった部分だと思うが、今回の概要版ではこの部分は掲載しておらず、財源等については財源計画の表を載せるだけにしており、一目で歳出と財源が表で分かるという内容にしている。それで1ページに収めているのが今回の概要版の内容である。もちろん委員がおっしゃるような延期時と今でどう変わったかというところを求める意見もあると思う。それは口頭説明ではあるがその説明の中で対応したいという考えである。

(委員)

それでいいと思う。

(委員)

まさに町民が知りたいのは交付税措置によってどれくらい減るのかということだ
と思う。ただ言葉として聞きたいのは、補助や交付税でできるだけ低減に努めますと
いう言葉である。そのため、こういう交付税措置があるというリストを載せることは
それなりに説得力が出てくるのかなと思う。説明としては低減に努めますという言葉
を聞きたいというところではある。

(事務局)

先ほど委員からもいただいた意見の、(2) 財源等の文言の中で「そのうえで、部
分的にでも交付税措置がある地方債の活用や、活用可能な補助金制度について検討を
行い、財政負担の軽減に努めます。」というような説明としている。実際会場で説明
する際、具体的な起債の名前まで挙げると、何のことか分からない人の方が大半だと
思うため、そのようなことで考えている。

(委員)

1回延期したことは分かっていると思うため、その時と今ではこういうふうに改善
されているから大丈夫だという説明にするべきだと思う。

(事務局)

そのようにする。

(委員長)

他に意見が無ければ、今回事務局から提案された概要版並びに基本計画(案)に沿
って住民説明会の方に進めるということで皆さんよろしいか。

(委員一同)

異議なし

(委員長)

委員からの異議は無いため、3月の住民説明会は今委員から出た意見も基に進めて
いただきたいと思います。

(町長)

先ほど交付税の話が出たため、この委員会とは関係なく情報として話をする。

先日議会でも説明したが、この先10年間を見込んで長期財政計画を立てながら今

進めている。そのような中で今後、令和12年くらいから交付税が少しずつ減っていく。なぜかという、町の借金が以前は100億円あったが、今は60億円くらいになっている。借金が減ったため公債費が楽になると、交付税も少しずつ減る。交付税はそういうものも算定の中に入っている。財政的に良くなってくるとだんだん下がってくる。町道の距離や子供の数、学校の数など色々算定があり、12年くらいから少しずつ下がっていく。過疎債も、過疎指定になっている間は、100%借りて70%は国が面倒を見てくれるというような有利なものであり、そういうものを我々は常々何にでも使えるようにと思って取り組んでいる。ただ、1年遅れて入り、入ってきたときには色が付いておらず、一般会計の中で借金のためとはならないため、町ではその分を減債基金に積み立てしているというような約束事で進んでいる。できる限りそういう約束を守りながら、いずれ借金も早く無くすことができるようにしていきたいという考えで今取り組んでいる。

【協議事項：その他】

(事務局)

次回の委員会については、4月中旬下旬に諮問と答申の委員会ということで予定している。良ければそのように進めたいと考えている。

(委員長)

町民説明会で出た意見等はこの委員会の委員にはまとめた形で事務局から届くのか。諮問する前に1回委員会を行えばそこで説明という形になるが、諮問しかなければまとめたものが委員の皆さんに届かないと、どういう質疑があったか分からなくなるがその辺りはどうするか。

(事務局)

説明会を24日と26日に開催し、全体の意見募集は3月いっぱい募集をかけているところである。先日全戸配布した庁舎建設だよりで皆さんに示したところである。そこまでの意見募集であるため、意見が上がって整理がつくのに多少の時間がかかると思う。元々事務局では、意見等とそれに対してどう対応したかのリストを今回のように作成したうえで、次の諮問案として出す計画には事務局で案として反映し、そのリストと案を諮問の時に説明しながら示すというような想定でいた。ただ、やはり先に一度見たいということであれば、郵送で皆様に届けるか、別に検討委員会をもう1回開くか、どちらでも対応できると考えている。

(委員長)

では、諮問の前に1回委員会を開催し、そこで町民説明会の意見についての説明と変更箇所についての説明を受けるといった形がいいか。

(委員一同)

異議なし

(委員長)

ではそういう形で事務局にはお願いする。

(委員)

計画を読んでいると、所々文章的に校正が必要な部分があると思う。それを我々からどういう方法で上げてどういう方法で修正するかというようなことを確認したい。

(事務局)

ぜひそういった細々した部分について、どうしても気付かないところはあるため、細かく見ていただいて修正案などあれば、申し訳ないが赤字で書いて出してもらえると大変助かる。もちろんそれは対応していきたいと考えているためよろしくお願いする。

【その他】

(事務局)

次回の委員会は、まだ日程は決まっていないが4月の中旬ぐらいになると思う。これについてはまた郵送で皆様に通知したい。その後、4月の中下旬に諮問及び答申というようなことで予定するためよろしくお願いする。

(委員)

会議に直接関係ないことで大変申し訳ないが1点だけ。私は観光物産協会の専務理事を担っており、そば振興委員会というところで今回町の100年フードの高寺苳そばを申請し、認定をいただいた。それで、我々が中心になり坂下町でぜひそばの盛り上げという部分を行いたいと思うので、この場を借りて大変申し訳ないが、各団体、地域の代表様来ていただいているため、ぜひ一つご協力応援をよろしくお願いする。

(委員)

今の話で、委員会意見リストにも出ているが、色々な良い意見をまとめて実行する部隊が必要だという話を以前した。リストの5ページにある委員の意見への対応で、今後引き続き意見を集めていくと書いてあるが、おそらくこれでは進まないと思う。良い意見をどんどん盛り上げられるような組織にしてほしい。この一言で終わらせるのではなく、誰かが中心になって坂下町を盛り上げるという気概を持って取り組めるような組織になればと思う。少なくとも、中心になって進める人が必要だと思う。そういうリストになればもっと良くなると思う。これは要望としてお願いする。ここに書いてあるものは全て新庁舎の関係の担当の人がやるのだろうと多分みんな思って

いると思うが、実際は違う。中心になって行う人やグループの欄を作り、いつまでに行うというようなことまで書かれれば良いリストになると思う。そうすれば放っておいても色々進むようになると思う。

(事務局)

今の話は町全体を盛り上げる振興的な話だと思うため1つ例を出すと、現庁舎跡地の利活用についても話が少しずつ進んでおり、市街地活性化に特化したプロジェクトチームも立ち上がっている。庁内で、庁舎整備班長も入っているが、商工観光の部門と企画の部門も含めてどうしていくべきかということ話し合い、先月と今月各地区で懇談会も行っており、旧町内の懇談会においてはそれを話題とした懇談会を開いているということで少しずつ進んでいるところである。今のプロジェクトチームからまた進展した話となれば、やはり商工観光と農業振興の方の部門でどんどん進めていくということになるため、我々が今聞いた話についてもそちらの方に随時伝えながら進めていきたいと思う。